



加治丘陵だより

加治丘陵山林管理グループ

平成28年5月23日

第24号

NPO法人

加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://npokajihozan.seesa.net/>

平成28年度に向けて

理事長 大山 博



本年度も引き続き、「無事故」第一にして安全作業活動に取り組む方針である。創立14期目に入り、過去からの幾多の困難を乗り越えて来た。入間市ほか民間との委託契約を締結し、主に下草刈り、立ち木や枯損木の伐採作業を中心に、約10万m³の規模を予定している。入間市などからの情報を収集しながら「協働」の精神で進めて行く。

人事管理、事務管理、業務管理組織を更に充実させ、総務班、会計班、作業班、研修班、及び機材整備班の体制で運営管理を徹底していきたい。毎年作業技術は高められ、その成果は内外から高く評価されている。更なる向上を目指していきたい。

会員同士の出会いを大切にし「絆」を深めるため、多くの会員が多岐にわたるイベントに気軽に気持ちで参加していただきたい。また、今年は市制50周年で、10月29日（土）～30日（日）の二日間、入間万燈まつりが大々的に開催される。当グループも2ブースを確保して出店参加する予定。一度是非、風薫る入間市唯一の里山「加治丘陵」の山の中でいい汗を流してみませんか。山はマイナス・イオンで一杯です。

〔寄稿文〕

演歌歌手からディーラーへそしてカメラ覗いて半世紀

《前篇》私の人生 プロ歌手から始まる 会員No.393 入間市写真連盟会長 木崎 芳雄



昭和14年、現青梅市成木に9人兄弟の末っ子として生まれる。遠縁のマルキ百貨店（現まるひろ）へ入社。19歳で大宮支店長代理となるが、毎日多忙で息抜きに通った喫茶店の店長の紹介で、作曲家の船村徹教室へ。そこで23歳の北島三郎と出会い、一緒にレッスンを受けたり、将来の夢を語り合ったりした。しかし、私は月謝が続かず8カ月でやめたが、好きな歌はやめられず、オーディションを受けて合格。芸名「青梅芳雄」で日本ボイスレコードから「月の三度笠」でデビュー。報知新聞ほか3紙に大きく掲載され、浅草の店々にプロマイドが飾られ、新人ながら看板歌手となった。

当時ジェームス三木や俳優の高城丈二、日活ロマンポルノの筑波久子、「川は流れる」でデビューした仲宗根美樹などと一緒にレッスンに励んだこともあった。その後、三味線都都逸（どどいつ）漫談の柳家三亀松師匠とコンビを組み地方巡業が続いた。また、地元の青梅大映、昭島松竹、立川大映の3劇場掛け持ちでのステージも思い出される。若干20歳の春を夢中で過ごした。当時ラジオ文化放送の歌謡番組で2週連続、青梅芳雄17位、春日八郎18位が流れ、地元では大フィバーで頂点に達した。まるひろの多くの社員も応援してくれて嬉しかった。

ところがデビューから順調に1年が過ぎたある日、突然「突発性難聴炎」に襲われた。強度の目まいと吐き気、右耳は全く聞こえない難聴となった。歌手としては致命的で止む無く引退せざるを得なかった。残念無念の心境。怒涛のような苦悩に迷う日々が続いて、この世も終わりかと思ったこともしばしば。そんな時の命の恩人が、まるひろ坂田外商部長ご夫妻だった。心から諭してくれたおかげで身を正したいと決意。坂田部長の紹介で埼玉マツダに入社。自動車ディーラー営業マンとしてのスタートだった。

（後編「ディーラー営業マンからカメラのプロへ」は次号掲載予定）



平成27年度実績

延作業日数：129日 延作業人員：1250名 延作業時間：4515時間

下草刈り総面積：104,608m²、伐採総本数：523本

木道：8 m × 2本、ベンチ：2基

平成27年度も会員の皆さまのご協力により、無事故で終了し、何よりのことと感謝します。特筆すべきは、桜山展望台南斜面の伐採整備、霞沢の急斜面での下草刈り及び伐採作業、それに足を泥沼に取られながらの唐沢の木道施設工事など、かなり厳しい作業が多かったことです。にもかかわらず、無事に予定どおり達成できたことは何よりでした。

平成28年度予定

全体の作業量は27年度にくらべ横ばい状況となる予定。

一大作業としては、さとやま計画に基づく自然探勝路の新設です。これは「探検の森」西側の北コースと南コースを接続するもので、遊歩道の階段約240段、8 m他計3本の丸太橋の設置、それに伴う伐採と皮むき、運搬など昨年にも増すハードな作業が予想されます。今年もまた無事故で目標達成するよう、全員一致協力して頑張りましょう。

作業写真集 平成27年度版



斜面での下草刈り



枯れ松の危険木を伐採



力が入るチルホールの引き倒し



木道橋用の丸太材を運ぶ



8 mの橋げた用ヒノキ材



完成した木道橋（唐沢）

新入会員ご紹介

会員番号 氏名(敬称略) 4月20日入会まで

451	今野 こんの 栄之 しげゆき	452	土生 はぶ 勇夫 こうだ	453	行田 邦子 こうじ
454	沖西 こんせい 三雄 みつお	455	廣澤 ひろざわ 文則 ふみのり	456	安部 安代 あいだ
457	椎名 しいな 洋子 ようこ	458	小幡 おばた 栄子 ようこ	459	富江 ふくえ 初代 はつだい

入会のお説明

=会員になって活動を支えて下さい。=

- 我々はボランティアで活動しています。
- 181名の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員（個人）2,000円
賛助会員（会社又は団体）1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515（大山 博）

みどりの課との意見交換会

平成24年より開催されていた意見交換会が、本年度第1回として4月4日(月)イルミンにて理事会のあと開催された。みどりの課からは加治丘陵担当の上原保夫主幹、横川純一郎主事、岡野拡也主事補の3名が出席された。当方からは新理事候補の6名も紹介されて会議に参加した。大山理事長の挨拶の後、上原主幹の挨拶と本年度の作業概要についての説明があり、続いて岡野主事補より詳細な年間スケジュール表が提出され、それに基づいての説明と質疑応答があった。本年度は「山仕事の広場」などの通常管理地の他、かねてよりの計画である武藏野音大西側の南北コースを結ぶ遊歩道（自然探勝路）の新設に着手すること。

安全教育研修 4月10日(月) 入間市健康福祉センター

参加者 26名
進行役 研修班班長
理事 砂川英昭

(1) 日常業務の安全について

作業・研修担当の菱川副理事長より、配布された資料の実例に基づき解説。続いて会員より提出されていた「ヒヤリ・ハット」の体験、10例につき各々説明討議された。

(2) 講義 講師：入間市健康福祉センター 管野優美子先生

テーマ：「高齢者(会員)は如何に健康管理を進めて行くか」

サブテーマ：「生活慣習と動脈硬化と血液年齢～いつまでも元気に現役で～」

最初に全員、血管年齢につき測定。その測定結果に対する説明と健康長寿埼玉プロジェクト編纂の「健康長寿サポートー応援ブック」により説明を受ける。

今回は始めて健康福祉センターで開催し、特に高齢者としての健康についての研修は、日ごろの不摂生を反省させられた点で極めて有意義であった。先生の話では当グループの人は意外に血管年齢は若いとのこと。

健康寿命を長く維持し、願わくばP

菅野先生の講義

PK（ぴんぴんころり）で逝きたいもの。



血管年齢の測定

グループ活動に参加して

会員No.371 佐藤 芳郎



ネットのブログを見て当グループを知りました。山仕事は体力的にきついところもありますが、好きなことなので、楽しく参加させてもらっています。所沢に住んでいますが、暇をみて極力参加したいと思っています。グループの閑散期にも活動できるように、伐採した丸太の活用範囲を広げて、柱や板の簡易な加工とか、チップにして公園などの歩道に敷いたりするなど、循環型の里山作りの一端を担えるようにもしてみたいです。また、桜山の周辺一帯に苗木を沢山植えて、名実ともに「桜の山」として、京都の吉野山にも負けないようにしたら面白いと思います。

むくの 会員No.428 向野 康宏



2年前に開催された入間市環境フェアが当グループを知るきっかけとなりました。当時は会社の定年退社後は時間を持て余すだろうと思い、何かボランティア活動に参加してみたいと思っておりました。加治丘陵の「初日の出」をはじめ桜山展望台から眺める関東平原が大好きなこともあります、当グループに参加することにしました。当初は力仕事に慣れるのに時間がかかりましたが、慣れてみると、森のオゾンを吸いながら頭を空っぽにして力仕事に熱中するのが楽しみとなりました。これからも加治丘陵の環境保全活動に少しでも役に立てればと思いますので、ご指導をよろしくお願いします。

【わたしの趣味】テングチョウとの出会い

会員No.412 長谷川 謙



蝶は子どものころから好きで、今でも飛んでいる蝶を見かけると目で追いかけます。中でもタテハチョウ科の蝶は飛び方が大へん軽快で、私の好きな種類ですがテングチョウもこれに属します。この蝶への関心は、その名前と図鑑で見た口吻^{くわい}が尖り、まさに天狗の鼻を思わせる独特な風貌でした。英語では“鼻の蝶”とも言われていますが、この蝶の祖先は古い時代から生息しており化石も発見されていることを知り更に興味がわきました。最初の出会いは小学生時代の長野県軽井沢でした。見かけない飛び方の蝶を採集し、それがテングチョウだと分かった時は嬉しく、今でもよく憶えています。

その後テングチョウを見かけたのは十数年前、所沢の雑木林、さらに、智光山公園でも見かけ、入間市周辺でも出会えることを知りました。久し振りの再会は昨年の6月初旬、「山仕事の広場」でした。お手洗い周辺で7~8頭（昆虫の中で蝶だけは数の単位は頭）が乱舞し、水道栓付近の湿った地面で吸水しているのを見つけ、仕事の手を休め見とれていました。また、今年の4月中旬には「山仕事の広場」の丸太保管場所でテングチョウを1頭見かけました。

この蝶は越冬するので春先の暖かい日であれば見ることが出来ます。テングチョウの食樹はエノキで、これは国蝶のオオムラサキと同じです。吸蜜の花はレンゲ、アブラナ、ソバ、キブシ、アセビなどです。加治丘陵に今後、蝶の好む食草、食樹、吸蜜の花の種類が増え、色々な蝶に出会えるのを楽しみにしています。



イベント報告

結果報告

- 忘年会 昨年12月5日(金) 市民会館フローレンスにて開催。田中市長以下多数のご来賓と会員計58名が出席。例によって早乙女さんほか女性会員3名のかっぽれ、竜晨会成田会長の民謡などあり大いに親睦を深めた。
- お花見 4月2日(土)11:00~ 愛宕公園池の端広場にて開催。来賓と会員計48名出席。桜は見ごろであったが、あいにくの寒さに昼食後は早々に会館内に移動、遅くまで和やかに語りあった。
- 楽山ゴルフ会 第15回コンペ 昨年11月13日(金) 美里ロイヤル・ゴルフクラブで開催。16名参加、小林貞治郎会員がグロス83、ネット72.2のスコアでまたも優勝。

第16回コンペ：4月13日(火)埼玉ロイヤル・ゴルフクラブで開催。18名参加、橋本喜代治会員がグロス98、ハンディ26.4、ネット71.6の好スコアで初優勝した。

今後のお知らせ

○第14回通常総会 6月25日(土)14:00~15:00 市民会館3階1号室

講演会15:15~16:15 講師：元衆議院議員内閣官房副長官、一般社団法人高麗1300理事長大野松茂先生。
演題：国会あれこれ・高麗郡建郡1300年にふれて。引続き懇親会16:30~予定。

○市制50周年記念入間万燈まつり 10月29日(土)・30日(日) 出店場所後報、例年どおり好評の炭火焼きイカの販売をしますが、今年から2ブースを確保しましたので、歓談場所に余裕があるため是非お立ち寄りください。

○第4回いるま環境フェア 6月19日(日)10:00~16:00 入間産業文化センター。当グループ出展につき来場乞う。

○森林視察研修 9月6日(日) 秩父湖方面。定員40名（観光バス）につき、案内書配布後、申し込み順で締切りますので早めに願います。

○暑気払い(納涼花火の夕べ) 7月20日(火)17:00~ 例年通り彩の森入間公園 池の畔で行います。

○親子カブトムシとり大会 7月12日(日)開催予定。

○第17回楽山ゴルフ会コンペ 11月9日(火)予定。場所未定。

～編集後記～ 寄稿文を木崎会員にお願いしたところ、そのあまりに波乱万丈の人生を送られただけに1回では収まらず、2回に分けた。後編をご期待乞う。本年度第1回の4月12日(火)の作業には今まで新記録の27名が参加した。それでも適切な作業分担が図られ、各自担当の仕事に邁進した結果、午後3時までの予定が昼まで完了。グループの充実ぶりを如何なく発揮した。

(編集委員長 小林貞治郎)

発行責任者：大山 博 〒358-0053入間市大字仏子1397-3 ☎04-2932-4515